

①団体の紹介 熊本県 有限会社ミューズプランニング

1997年、育児サークルを母体にして編集プロダクションを創業、2003年法人化。子育て・暮らし・健康など、社会参画をめざす女性のために役立つ情報や企画を提案・発信。その後もひとり親支援、男女共同参画推進、子育て支援などに取り組む。

2016年の熊本地震では、発災直後から熊本市の男女共同参画センター（指定管理）として、性被害防止の啓発や避難所の環境改善に取り組んだ。その後も県内外で男女共同参画の視点を活かした防災・減災の周知に務めている。

令和4年、熊本地震の被災地である益城町に拠点を移し活動中。

ビジョン:すべての女性が自分らしく輝ける社会へ

企画・制作・編集デザイン

子育て情報誌・生活情報誌・男女共同参画啓発誌



女性の自立支援・人材育成事業

男女共同参画の視点に立った防災出前講座

女性防災リーダー育成プロジェクトRin

くまもとチャレンジャーAWARD(創業支援)



指定管理・委託事業

熊本県民交流館パレア男女共同参画センター

熊本市男女共同参画センターはあもにい

熊本市ファミリーサポートセンター



社会貢献事業(一社)ウィメンズ・フォーラムくまもと)

益城町女性活躍推進事業 ましき女性みらい塾

親と子の居場所づくり



支援を続ける中で見えてきたさまざまな声



避難所に到着する場所がないで、避難先を自分で探す必要が生じた事例が報告されている。その場合、避難先を確保する支援が必要となる（11～16歳未満）

避難所で大人男性から声をかけられ、トイレまでついてくる。避難先もわからない。避難先を確保する支援が必要となる（16～17歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（18～19歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（20～21歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（22～23歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（24～25歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（26～27歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（28～29歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（30～31歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（32～33歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（34～35歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（36～37歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（38～39歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（40～41歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（42～43歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（44～45歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（46～47歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（48～49歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（50～51歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（52～53歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（54～55歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（56～57歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（58～59歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（60～61歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（62～63歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（64～65歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（66～67歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（68～69歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（70～71歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（72～73歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（74～75歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（76～77歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（78～79歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（80～81歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（82～83歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（84～85歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（86～87歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（88～89歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（90～91歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（92～93歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（94～95歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（96～97歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（98～99歳未満）

避難所に行く途中、避難所に入る前に、避難先を確保する支援が必要となる。避難先を確保する支援が必要となる（100歳未満）

避難所・避難先では 困っている女性や子どもが増えた 性被害・性暴力、DVなどが増加します

自分大切にしてください
単独行動はしない
ようしましょう！

性的な嫌がらせやいやな話を
耳をふさぐ行為も犯罪です
被害をうけたら相談を！

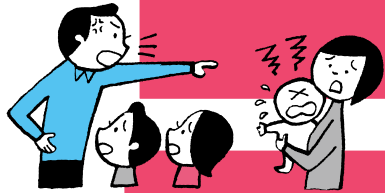
周囲の目と支えがたよりです
思いやり・知らない人でも
助け合いましょう

ストレスをためず
不安な気持ちも声
に出しましょう

相談先

熊本市DV相談専用電話 ☎096-344-3322	区役所福祉課
性暴力被害者のためのサポートセンター あさひさくまもと ☎096-386-5555	中央区 ☎096-328-2301
熊本県女性相談センター（DM相談） ☎096-381-7110	西区 ☎096-329-5403
熊本県女性総合相談室 ☎096-355-2223	南区 ☎096-327-4129
	北区 ☎096-322-1118
熊本県警察本部レイディース110 ☎0120-8343-81	☎096-384-1254

避難所で「おなごは引っ込んでけ！」と、言われ話も聞いてもらえなかった



要支援者への理解がなかった（障害女性）

家を片づけるにも仕事に行くにも、こどもを預かってくれるところがなかった

避難所で寝ているときに体を触られた

収入が途絶え、経済的に困窮した（シングルマザー）

支援者が疲れ切っている



②「防災」「女性リーダー」に関する熊本の現状・課題認識



①熊本地震を経験したにも関わらず、男女共同参画の視点での防災の必要性に関する県民の意識も低く、行政においても具体的な取り組みが少ない

⇒Rinネットワークの活動により男女共同参画の視点を取り入れた防災活動の事例が増えている

②行政、自治会などでも女性リーダーを求めているが、地域になり手がいない、把握できていない

⇒女性防災リーダーのネットワーク化

③女性防災士は増えているが、活躍の機会が少ない

⇒防災女性リーダーネットワークRinの活動が確立し、(行政、関係団体、県民全体に) 周知されている

④防災会議における女性委員の割合が低い

(熊本県内市町村の防災会議女性割合平均値8.3%、女性委員0の市町村3・非公開3) 熊本県防災会議における女性委員比率31.9%。 ※2023年内閣府見える化マップ

⇒県内自治体へ事業報告・提案、働きかけ



③くまもと女性防災リーダー育成プロジェクト～Rin

「災害時における女性の視点」を今後の防災・減災政策や地域づくりに生かしていくために、発言力と行動力のある女性人材を発掘・育成するための「防災女性リーダー養成講座」を実施し、人材ネットワークの構築を行う。これにより再び災害が発生した場合にも、自ら動き助け合うことのできるレジリエンス力の高い地域づくりを目指す

南阿蘇



長洲町



防災士、消防団、高校生、議員、子ども食堂、民生委員、地域づくりに携わる女性57名を育成
各地域で活動を広げている

山鹿市



益城町



熊本市



宇土市



八代市



荒尾市



この女性防災リーダーRinネットワークを各地に広げながら、
災害に強い地域づくり・誰一人取り残さない熊本を目指します！

